

J R 烏山線利用促進特別委員会活動報告

当委員会は、J R 烏山線でサイクルトレインの導入が可能かどうか調査研究するため、現にサイクルトレインを運行している J R 水郡線に自転車を 2 台持ち込み、上菅谷駅から常陸大宮駅まで乗車してきました。今回乗車した気動車は 2 両編成で、後ろの車両にある車椅子用の空きスペースに自転車を固定して利用しました。スペースがない場合は、座席に座り、自転車を手で保持する事も可能です。固定、保持等の規制がなく自身が安全と思う場所に置く事ができます。

水郡線サイクルトレインは、これまで有人駅のみ乗降が可能でしたが、令和 5 年 4 月 29 日より無人駅の実証実験モデル駅が追加されました。ワンマン運転の列車は、先頭車両の最後部ドアから乗車し、最前部のドアから降車、J R 烏山線の乗り降りと同じです。

サイクルトレインは、J R 東日本の取組ではありますが、J R 烏山線の利用向上に向けて、働きかけていければと思います。

J R 烏山線利用促進特別委員会 委員長 興野一美



電車内に自転車を固定した様子



サイクルトレイン利用後、常陸大宮駅にて